

取組と達成目標 -図書館（若狭図書学習センターを含む。）-

| 項目 | 現場 | 挑戦 | 協働 | 創意工夫 | 効率化 |
|----------------|---|--|--|---|--|
| 1 情報の提供 | ○適切な資料の収集 ○オンラインデータベースの提供 ○情報リテラシー向上の支援 | ○郷土資料のデジタル化 | ○他図書館への資料提供 | ○時代のニーズに適合した、県立図書館に相応しい蔵書構成を実現 | ○レファレンスツールの作成 |
| | ●受入資料数 22,000 点 ●オンラインデータベース提供 6 種 ●資料・情報の調べ方講座の開催 2 回 | ●郷土資料デジタル化計画の立案 | ●県内市町図書館への相互貸借冊数 10,000 冊(R 元:9,424 冊) | ●長期ビジョン、教育振興計画等を踏まえ、「資料収集方針」を改訂(人口減少、人生 100 年時代、新幹線、AI 等) | ●テーマ別調べ方案内等の作成、改訂 8 点 |
| 2 他機関との連携 | ○県内図書館司書のスキルアップ ○市町図書館との意見交換 ○他図書館等とのレファレンス協力 | ○残り1冊となった市町図書館の資料の県立図書館での受入(リポジトリ機能) | ○インターネット予約による市町図書館での資料受取 ○市町図書館との共同企画の開催 | ○ビジネス支援(事業創継)、医療健康など他機関と連携した共同企画の開催 | ○図書館ポータルを活用した市町図書館との情報交換 |
| | ●職員研修の開催 5回 ●東海北陸地区公共図書館研究集会の開催 ●市町図書館への訪問 35館 ●レファレンス協同データベース登録件数 50件 | ●リポジトリ機能を発揮するための仕組みと資料受入に伴う書庫計画の検討 | ●インターネット予約他館受取冊数 6,000 冊(R 元:6,057 冊) ●市町図書館との共同企画 1回 | ●他機関と連携した本の特集 35回 ●他機関と連携したイベント 15回 | ●図書館ポータル掲示板を活用した情報提供 |
| 3 生涯学習活動の支援 | ○文書館、ふるさと文学館と連携した魅力ある企画の実施 ○シニア向け企画の実施 ○「白川文字学」を学ぶ機会の提供 | ○子どもの読書活動の推進 | ○ボランティア活動の受入 ○施設を有効活用し、活動発表や学習機会を提供 | ○ホームページ、SNSにより図書館サービスやイベント等の情報発信を強化 | ○マイナンバーカードの図書館利用 ○効率的な広報の実施 |
| | ●3館連携企画 3回 ●図書館キャンプ 1回 ●シニア向け講座 10回 ●白川文字学ワークショップ 2回 ●白川文字学テーマ展示 4回 | ●ジュニア司書の養成 ●特別支援学校での読み聞かせ ●県立学校での郷土資料調べ方講座の開催 ●推奨図書コーナーの設置 ●「おひざでだっこ」の継続 | ●図書館ボランティア受入 130 人 ●多目的ホール稼働率 60% | ●ホームページ閲覧数 24,000 回/月 ●SNSやメディアによる効果的な広報の検討 | ●マイナンバーカードを図書館利用カードとして利用できる環境整備(R2.7~(予定)) ●メールマガジンの廃止、紙媒体広報資料の効果的な使用 |

※上段は取組項目、下段は目標（実績） ゴシック体は令和2年度の新規項目

※本案は令和2年4月当初のものであり、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ここに示された業務・行事等がやむを得ず延期や中止になることがあります。

参考指標：来館者数、総貸出冊数、個人貸出冊数、新規登録者数、レファレンス件数の推移（過去5年）